

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和6年2月22日（木）午前11時20分
閉会日	令和6年2月22日（木）午前11時28分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 なかじま和代 副委員長 山田けんたろう 委 員 伊藤真規子 大島令子 川合ともゆき 木村さゆり ささせ順子 田崎あきひさ 富田えいじ にしだ亮太 野村 弘 水野勝康 山田かずひこ わたなべさつ子
欠席委員	おくだけんじ
欠 員	2 人
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 佐藤有美 総務部長 加藤英之 次長 福岡隆也 財政課長 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計4人</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 岡崎つよし 議会事務局長 横地賢一 議事課長 福岡弘恵 議事係長 村瀬紗綾香
会議録	別紙のとおり

## 別紙

委員長 開会宣言

議長 あいさつ

市長 あいさつ

委員長 本委員会では、一般会計に係る議案のみ説明を受ける。まず、議案第2号令和6年度長久手市一般会計予算について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 令和6年度の一般会計当初予算は236億9,000万円で、当初予算の規模としては過去最高額である。

歳入について、1款市税は、国の施策である個人住民税定額減税による減収分を3億円程度と見込み、2,069万円の減額とした。ただし減収となった分は、9款地方特例交付金として国から補填される予定であり、令和5年度と比べ約2億9,000万円の増額となっている。

市税の状況としては、市民税は約54億7,000万円を見込み、令和5年度と比べ約1億8,400万円の減額を見込んでいる。固定資産税は、土地分については令和6年度が3年に一度の評価替えの年度になるため、地価の上昇に伴い増額を見込んだ。家屋分については新築家屋の増加により、令和5年度を上回る予算額を見込んでいる。税收全体としては、令和5年度より2,000万円ほど少ない約121億2,800万円となっている。

歳出について、3款民生費は、認可保育所2園の開所に伴う給付費の増加や、令和6年10月から子ども医療費の支給対象を18歳の年度末までの通院に拡大したり、児童手当の支給対象年齢を18歳までに引き上げたりする費用を見込むため、大きく増額している。7款土木費は、公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計が令和5年度末で廃止になることから、特別会計への繰入金金が皆減となる分、大きく減額している。

委員長 次に、議案第10号令和5年度長久手市一般会計補正予算（第12号）について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 今回の補正額は、歳入・歳出ともに1億1,508万円の減額である。歳入は市債、市税、国庫支出金等の増額と、繰入金、地方消費税交

付金、使用料及び手数料の減額である。歳出は教育費の増額と、民生費、土木費、総務費等の減額である。

なお、福祉の家管事業はじめ8事業で、4億8,725万9,000円を令和6年度に繰り越して使用し、既定の戸籍住民基本台帳整備事業の繰越明許費を変更する。また、既定の体育施設等指定管理料の債務負担行為の変更、西小学校施設大規模改修事業の地方債の追加、雁又泥亀首1号線道路改良事業の地方債の変更、岩作旧市街地狭あい道路整備事業の地方債の廃止を行う。

委員長 本委員会に付託された議案14件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 閉会宣言

午前11時28分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和6年2月22日

予算決算委員会委員長 なかじま和代